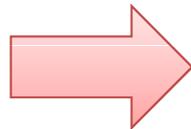


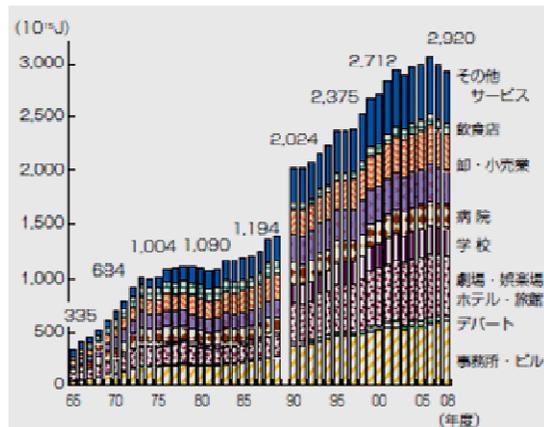
## グリーンセンサネットの必要性

- ・業務部門の最終エネルギー消費は、1990年比で4割程度増加しており\*1、省エネ対策の更なる強化が求められている。センサネットシステムは提案・商品化されているが、センサへの電源供給網や有線センサネットワークへの設備投資が高額かつ標準システム化されていないため、小売店舗を中心にした広範な商業ビルには導入が困難な状況。
- ・他方、2010年4月の改正省エネ法の施行により、事業所単位から企業単位へ規制対象が拡大し、たとえばコンビニなどのフランチャイズチェーンにおいても、事業全体の年間エネルギー消費量の届け出とエネルギー使用の合理化努力が求められている。
- ・既築の施設にも簡便に導入することが可能で、エネルギー管理やセキュリティ対策にも適応可能なエネルギーセンサシステムの実現が求められており、日本が強みを有するMEMSセンサ技術を活かしつつ、幅広く社会に導入可能なシステム化を実現することが極めて重要。

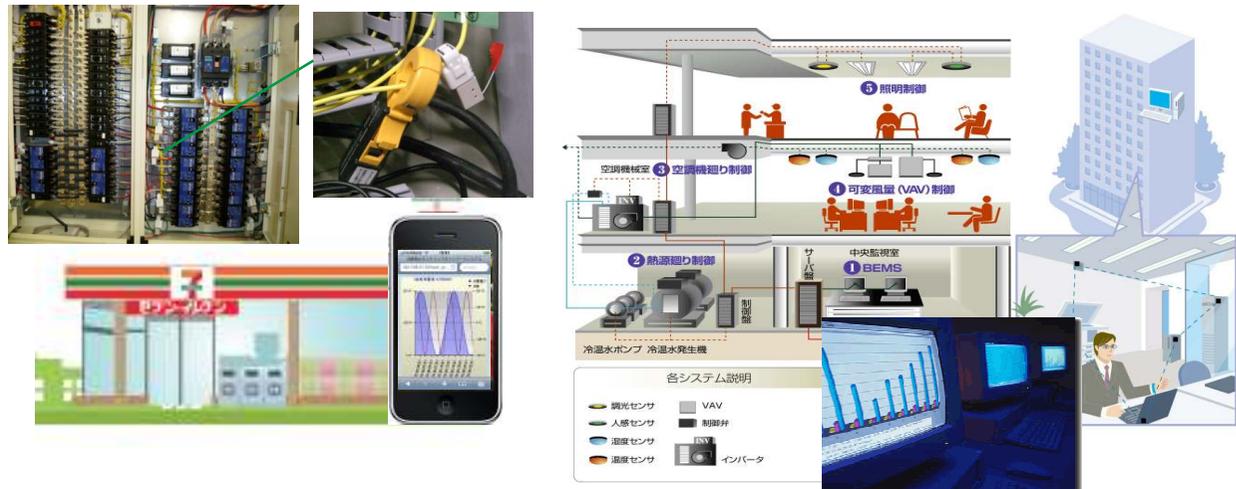
\*1(出所)経済産業省資源エネルギー庁 エネルギー白書2010第2部エネルギー動向「業務部門業種別エネルギー消費量の推移」より



大規模ビル、中小ビル、新築・既築、小規模店舗、精密機械加工工場等、多様なエネルギーシーンに適合できるMEMSセンサネットワークシステムを構築することにより、省エネルギーに貢献



\*1「業務部門業種別エネルギー消費量の推移」



エネルギー消費量の見える化と全体最適化制御